

■正の私財、負の公財■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 095 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

095 目次

1. トピックス：正の私財、負の公財
2. お知らせ：名栗の森オーナーズシップクラブ 2 月例会
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/category/p9/>

.....

1. トピックス：正の私財、負の公財

昨夜は年に一度の同窓会で、建築学科当時の仲間に再会した。多くは建築関連の仕事に携わっているので、業界の先端の話が聞けるのだが、少数ながら僕のような途中脱線組も混じっていて、そんな人の話を聞けるのもこの会の魅力だ。昨日久しぶりに再会した Y さんは、農学部を卒業後、建築学科に学士入学してきた変わり者だが、建築模型にパセリを植え、水をやっていたのを今でも思い出す。現在は JICA(ジャイカ)で、環境問題に関する途上国支援をしているとのこと。特に大気汚染に関する調査や対策をプロジェクト化する話では、ウランバートル、コソボ、テヘランといった都市の環境問題が、産業構造や経済情勢だけでなく歴史的経緯や政治問題、そして地形や気候、文化に及ぶ複雑な要素の絡み合いで、説明を聞いているだけで僕はワクワクしてきた。

やがて「・・・で、松村君は何をしてるの？」と尋ねられたので、ちょっと考えてから「土地を持って余している所有者を支援したり、土地の寄付や遺贈の受け皿になろうとしているんです」と答えると、Y さんは「いやあ、僕の家でも相続が発生し、長崎の実家をどうしようかと困っている」と身を乗り出してきた。そこで僕は、現に土地を持って余している人が相当大勢いること、土地は利用したり稼ぐための資源ではなく、税金や維持管理費の負担にあえぐ負の資産になりつつあること。自分で利活用できない人が行政へ寄付を申し出ても断られてしまうこと。たとえ寄付を受けてくれる団体があっても、基本的には売却・換金され、土地として利活用する仕組みが見当たらないこと。そんな社会の実情を説明した。

すると Y さんが、興味深い話をしてくれた。「経済学の用語で“公共財”と“私的財”という言葉があつてね、土地は利用価値があり役に立つ間は“私的財”だけど、役に立たなくなったら“負の公共財”となるんじゃないかと僕は考える」と。僕はこの話を聞いて、目から鱗が落ちる思いがした。言い換えると、土地から得られる収益は所有者のものになるが、土地から収益が得られず負担ばかりの「負の財産」になったときは、個人任せにせず社会がこれに対処するべきだということだろうか。まさにこの「公と私の関係」こそが、僕の迷い込んだ袋小路の行き止まりだ。「幸福は個人のものだが、不幸は社会のもの」ということか。

実際、負の財産となってしまった土地を保有しているのは裕福な所有者であり、他の収益でこの負担を補てんすることができている。資産家に見れば、負の資産は節税用の負債のようなものであり、正と負の資産双方を持つことで、より大きな資産を保有できる訳だ。社会の側から見れば、「収益もないのに固定資産税を負担してくれるありがたい存在」ということで解決済みだ。しかし、こうして負の財産を抱え込まれてしまうと、たとえそれらを活用することで正の財産に変化する可能性があつても、その芽はことごとく潰されてしまう。「たとえ収益を生まなくても、その負担を軽減するために無償で土地を使わせてほしい」という僕の提案は、なかなか理解してもらえない。

だが、負の資産を公共財と考えることで、社会は大きなメリットを生み出すことができる。放置され負担を負うだけの土地を公開し、所有者の負担を分かち合う人に所有権を分け与え、所有者として自由に使用することが可能となる。その場合、所有者にとってのデメリットは、収益が発生して税金がかかることだ。だったら、収益を所得にせず、土地の保全や整備に再投資すればいいだけのこと。やはり僕の取り組みは、経済学的イノベーションなのかもしれない。Y さんの言葉のおかげで、ぼくは重たい扉を開けられそうな勇気と元気が湧いてきた。

考えてみれば、活力ある経済とは、稼いだお金をじゃんじゃん使うことを意味している。お金は貯めこむためにあるのではなく、自分を育て、世界を作り出すために使うべきものだったはず。それを極端に溜め込んでいるのが、現代日本の実像だと僕は思う。ところが、お金を溜め込むおかげでインフレにならず、物価が安いと喜ばれ、銀行の預金を吐き出させるための低金利政策が、国の膨大な借金を支え、借金頼みの制度事業や助成金に群がるビジネスが利益を溜め込むという悪循環は加速するばかり。貧富の格差はこうして広がり、富裕層が負の財産まで抱え込むため、貧しい人は手ぶらでチャレンジするしかない。正と負の財産をまとめて保有するのはやめませんか。僕が目指すのは、富裕層がせめて負の財産を吐き出す社会。その結果、増えてしまった収益を社会に再投資して、無駄な税金を払わない社会だと分かってきた。

Y さん、ありがとうございました。また近々、一杯やりましょう！

<http://nanoni.co.jp/20170219/>

.....

2. お知らせ：名栗の森オーナーズシップクラブ 2 月例会

名栗の森オーナーシップクラブでは、毎月第 4 日曜日に例会を開催します。

今回はすっかり葉の落ちた森の中の探索にチャレンジしたいと思います。

特に、広葉樹林部分は、春の山菜狩りの下見も兼ねて、急斜面に挑んでみたいと思います。

山菜に詳しい方のご参加を、特に歓迎いたします。

参加ご希望の方はこのメールに返信ください。

■ 2月例会

日時：2/26(日) 10時～

集合：辻村屋保全山荘 埼玉県飯能市下名栗 1111-2

費用：一般 2,500 円、会員無料 どなたでも参加できます。

内容：10:00 山荘に集合後、現地に向かいます

12:00 昼食(天気が良ければ、山中でお弁当)

13:00 山荘に戻り、メンバー紹介、活動報告、自由討議

15:00 解散

装備：山林内での軽作業ができる服装、軍手、お弁当

Web サイト <http://land-resource.org/naguri/>

FB ページ <https://www.facebook.com/naguriforest/>

FB グループ <https://www.facebook.com/groups/naguriforest/>

FB イベント <https://www.facebook.com/events/1849667358622510/>

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

・日程 2/23、3/9 (第 2,4 木金曜日) 19-21 時 笑恵館

・その他会場募集

まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

・新着記事 A1.理屈編 3.人間について 3.how : 攻めと守り(2/15 公開)

http://nanoni.co.jp/juku/a13_3/

■オンラインまつむら塾：まつむら塾の演習をオンラインで体験できます。

・事業目的の作り方(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/m-juku01>

現在：RAM 会員 3 名、ROM 会員 0 名 (定員 30 名)

・倒産覚悟の経営のススメ(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/matsumuratakuya>

現在：会員 8 名 (定員 30 名)

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

- 凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。
◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。
●同行可能：僕の訪問先にお連れします。
★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 2/20 ○作業日

(火) 2/21 ○午後から笑恵館で面談可

12-14 時 ★法人ごっこ

<https://www.facebook.com/events/662121940657948/>

16-18 時 ★笑恵館を学ぼう

<http://shokeikan.com/info/shokeikansemi>

18-20 時 ★笑恵館・持ち寄り食事会

<http://shokeikan.com/info/meeting>

(水) 2/22 ○作業日 夕方池袋方面

(木) 2/23 ○終日笑恵館で面談可

18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)

<http://nanoni.co.jp/juku/sample-page/>

(金) 2/24 ○午後から笑恵館で面談可

(土) 2/25 ○休業日

15-17 時 ★砧むらマップカフェ(OBK)

<https://www.facebook.com/events/255008914954959/>

(日) 2/26 ○作業日

10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ

<https://www.facebook.com/events/1849667358622510/>

■その後のイベント

2/28 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

3/09 18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)

3/10 19-21 時 ★カップラー起業交流会(三茶)

3/12 10-12 時 ★さくまさんち 日曜カフェ

3/14 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議

3/14 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

3/16 19-21 時 ★LR オーナーズクラブ

3/17 19-21 時 ★第 16 回 解決しゃべり会(笑恵館)

3/21 16-18 時 ★笑恵館を学ぼう

3/21 18-20 時 ★笑恵館・持ち寄り食事会

3/23 18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)

3/25 15-17 時 ★砧むらマップカフェ(OBK)

3/26 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ

3/27~4/01 SHO-KEI-KAN 展IV

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのこ(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>